

第 17 回生活科学系コンソーシアム総会 議事録

日時：2024 年 5 月 17 日（金）17:00～19:05

場所：オンライン会議 (Zoom)

出席者：(敬称略) 合計 30 名

生活科学系コンソーシアム構成学会 13 学会 21 名

国際服飾学会	河上繁樹 山村明子
生活経済学会	上村協子 倉田あゆ子
日本衣服学会	村上かおり 田中早苗
日本家政学会	赤塚朋子
日本家庭科教育学会	工藤由貴子 志村結美
日本健康心理学会	田中共子
日本消費者教育学会	大藪千穂 柿野成美
日本食品衛生学会	高野伊知郎 加藤公子
日本食品科学工学会	上菌薫
日本繊維製品消費科学会	大矢勝 佐藤真理子
日本調理科学会	綾部園子
日本保育学会	戸田雅美 小川清実
服飾文化学会	玉田真紀

日本学術会議 健康・生活科学委員会 生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会委員 9 名

阿部栄子、大藪千穂、小川宣子、佐藤裕紀子、重川純子、守随香、杉山久仁子、宮崎陽子、宮野道雄

欠席者：構成学会 2 学会 日本健康医学会、日本健康科学学会

生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会委員 1 名 池田彩子

配布資料

- 資料 1 出席者名簿
- 資料 2 生活科学系コンソーシアム第 39 回会議議事録 (案)
- 資料 3 2023 年度活動報告案
- 資料 4 2023 年度決算報告案
- 資料 5 2024 年度活動計画案
- 資料 6 2024 年度予算案
- 資料 7 「報告：継続的で包括的な子育て支援の実現に向けて (要旨)」(日本学術会

議健康・生活科学委員会家政学分科会)

資料 8 構成学会の会長及び連絡担当者の氏名、連絡先等

資料 9 生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会委員の氏名及び連絡先一覧

資料 10 会費入金依頼

守随副会長司会のもと審議に先立ち、資料 1 の名簿順に自己紹介が行われた。

議題

(1) 生活科学系コンソーシアム第 39 回会議議事録(案)の承認

杉山会長から議事録案(資料 2)が説明され、資料 2 の(4)～(7)の項目名に(案)をつけ、総会で最終決定することがわかるように修正を行うことを確認した上で承認された。

(2) 2023 年度活動報告

杉山会長から 2023 年度活動報告案(資料 3)が説明された。2023 年度は会議 2 回、総会 1 回、博士課程論文発表会(終了後、情報交換会)がいずれもオンラインで開催されたことが報告された。なお、日本学術会議第 26 期分科会の活動開始時期との関係で 12 月のシンポジウムは開催することができなかったことが説明された。資料 3 の第 39 回会議の終了時刻の「予定」を削除することを確認した上で、報告は承認された。

(3) 2023 年度決算報告

重川会計担当委員から 2023 年度決算報告案(資料 4)が説明された。会議及び博士課程論文発表会はオンラインで行われたため会議費支出がなかったことが報告された。阿部監事から監査報告があり、原案どおり承認された。

(4) 2024 年度活動計画

杉山会長から 2024 年度活動計画案(資料 5)が説明された。2024 年度の会議は第 40 回～第 42 回会議の 3 回、総会、シンポジウム、博士課程論文発表会・交流会を 1 回ずつ開催する。2024 年 9 月予定の第 40 回会議(オンライン)の日程調整を 7 月中に行うこと、2025 年 3 月開催予定の第 42 回会議(オンライン)の同日に博士課程論文発表会を行うことが提案された。また、2024 年 12 月予定の第 41 回会議当日に第 13 回シンポジウム(対面またはハイブリッド)を開催することが提案された。他に、これまでに申し出のあった後援名義使用 5 件について確認され、日本消費者教育学会の後援内容及び期日の一部を修正の上、活動計画が承認された。

(5) 2024 年度予算

重川会計担当委員から 2024 年度予算案(資料 6)が説明された。基本的に資料 5 の 2024 年度活動計画に基づいて予算計画を立てている。最近の物価上昇を勘案して昨年度より若干多く見積もっている。新型コロナウイルス感染症対策のた

め近年の活動が主としてオンラインで行われたことなどから次年度繰越金が増加傾向にあるが、今後、対面の活動が増えることなどを想定して、会費口数の維持が依頼された。以上の説明に対して、原案どおり承認された。

(6) 第13回シンポジウムについて

杉山会長から過去3回(第10~12回)のシンポジウムの経緯や、家政学分科会が第25期に発出した「報告」の概要について資料7の要旨を基に説明された。

「報告」では、問題点と課題の提示にとどまっており、子育てしている人を支援する乳児家庭全戸訪問に関する課題の対応については、看護学分科会などと連携しながら引き続き検討していきたいと考えていること、また、子育てをする人以外も含めた幅広い見地から多面的かつ包括的に、生活科学の視点から子育てを考えるために、生活科学系コンソーシアムのシンポジウムを実施したい旨が提案された。提案に対して構成学会委員からは当該学会の分野との関連性についての意見やコンソーシアムとして取り組む上において、「生活者の視点」で子育てを考えること、「生活者視点とは何か」を社会に問いかける取り組みにすべきではないかとの意見(工藤委員)があり、分科会委員からは過去3回のシンポジウムによる「生活者の視点」のまとめから始める必要があるとの指摘(小川委員)があった。

杉山会長から、第13回シンポジウムに向けてコンソーシアム以外の他の領域も交えて意見交換し、社会に向けて問題提起するような内容で検討したいとの方向性が示された。シンポジウムの趣旨及びテーマの提案を7~8月に各構成学会にメールで連絡の上、各学会の関わりについてあらかじめ検討していただくよう依頼して、9月のコンソーシアム会議で内容を決定することになった。

(7) その他

杉山会長から生活科学系コンソーシアムの事務担当者を構成学会から1名選出し、2名にすることについて諮られた。ホームページ担当は引き続き分科会の池田彩子委員にお願いし、構成学会との連絡・仲介担当を生活経済学会連絡担当の倉田あゆ子委員に当面1年間お願いすることとなった。また、次回会議以降の議事録は構成学会の連絡担当委員に事前に出席確認の上、輪番で依頼することになった。

確認事項

(1) 構成学会の会長及び連絡担当者の氏名および連絡先等について

守随副会長から資料8に記載された会長名、連絡担当者名、連絡先等を確認し、記載内容に変更等があれば事務局に連絡してほしいとの依頼がなされた。また、資料9の分科会委員名簿についても相互の連絡に役立ててほしい旨、説明された。

(2) 2024年度会費について

重川会計担当委員から資料 10 に基づき、今年度の会費の口数を 6 月 12 日までにメールで連絡してほしいとの依頼がなされた。

(3) 構成学会の 2024 年度行事予定について

杉山会長から、構成学会の今後の行事について生活科学系コンソーシアムのホームページに掲載するため、事務局あて逐次報告してほしいとの依頼があった。

(4) その他

杉山会長からコンソーシアムホームページには行事の他にも構成学会に関する情報が掲載されているので、会長等の交代などがあった場合に事務局へ連絡してほしいとの依頼があった。

報告

(1) 構成学会から

分科会の小川委員から、各学会が関連する国際学会などとの国際的な取り組みについて情報報告及びその情報を議事録に掲載してほしいとの要望がだされた。

① 国際服飾学会

5 月 18-19 日に大会予定(東京家政学院大学)。8 月 20-21 日に韓国で開催される国際服飾学術会議に学会員が参加予定。

② 生活経済学会

6 月 29-30 日に大会予定(東北福祉大学)。2025 年 6 月 21-22 日に生活経済学会 40 周年記念行事を予定(慶応大学)。事務局変更予定。

③ 日本衣服学会

11 月 23-24 日に大会予定。

④ 日本家政学会

3 月 21 日に国際家政学会制定の世界家政学の日イベントを実施した。5 月 24-26 日に大会予定(椋山女学園大学)。6 月 23-28 日にアイルランドで国際家政学会予定。9 月 2-3 日に夏期セミナー「生活と防災」を予定。会長、連絡担当交代予定。

⑤ 日本家庭科教育学会

7 月 6-7 日に大会予定(オンライン)。学習指導要領の改訂に向けて、生活関連の教科の重要性について共に考えていきたい。

⑥ 日本健康心理学会

11 月 23-24 日に大会予定(別府大学)。ヨーロッパ健康心理学会との関わりがありホームページに掲載している。アジア健康心理学会との関わりも有している。

⑦ 日本消費者教育学会

10 月 12-13 日に大会予定(同志社大学)。8 月 30 日に学生セミナーを予定(オンライン)。

⑧ 日本食品衛生学会

6月7日に公開シンポジウム「今、改めて考える食と健康」を予定。11月7-8日に学術講演会及び災害と食品衛生についてのシンポジウム開催を予定(中部大学)。

⑨ 日本食品科学工学会

5月17日に総会実施。8月29-31日に大会予定(名城大学)。国際食品科学工学連合との関係を有している。

⑩ 日本繊維製品消費科学会

6月21-23日に大会予定(信州大学)。他にセミナー等も実施予定。繊維系3学会合併について準備中。

⑪ 日本調理科学会

1月7日～3月22日の間、NPOによる能登半島地震の被災地支援に学会員も参加。6月2日に代議員総会及び講演会(会員外も参加可能)予定。9月6-7日に大会予定(鎌倉女子大学)。会長、連絡担当交代予定。

⑫ 日本保育学会

5月11-12日に大会実施(神戸大学)。次年度大会は2025年5月10-11日を予定(長野県立大学)。各地区で研究会等を年4回程度行っている(学会員以外も参加可)。また毎年、政策関連のシンポジウムも行っており、学会員以外も参加可能である。

⑬ 服飾文化学会

5月18-19日に総会、大会予定(作品展示も行う)(文化学園大学)。9月13-14日服飾文化セミナー予定(京都)。事務局交代予定。

(2) 生活者視点で健康と暮らしの課題を検討する家政学分科会から

杉山会長から第26期3年間に取り組む活動について検討を進めている旨、報告があった。

次回会議日程:2024年9月(7月中に日程調整を行う)

以上